

伊陸夢プランだより

第8号

令和2年2月13日発行

伊陸地区コミュニティ協議会

第10回 キャベツ祭りが開催されました

2月2日（日）JA 山口県伊陸支所の倉庫にて、伊陸フェスティバル第10回キャベツ祭りが開催され、多くの来場者で賑わいました。主催の農事組合法人「ウエスト・いかち」が始めたこの祭りは、伊陸地区の重要なイベントのひとつで、毎年キャベツの収穫期に開催されています。

今回、キャベツ祭りの会場は、JA 山口県伊陸支所のご厚意により使用させていただいた倉庫で、広さも十分にあり、県道にも近く、何より天候の心配をしなくて済む、最適の会場でした。隣接する伊陸小学校のグラウンドが駐車場になり、お客様には最高の立地条件だったと思います。



午前7時30分に「ウエスト・いかち」の500玉のキャベツや、出店団体が販売する新鮮な野菜や特産品が運び込まれると、会場は一気に活気づいて来ました。



開催時間の午前9時には、待ちきれない来場者が次々に訪れ、大玉100円のキャベツはもちろんのこと、他の出店者のブースもどんどん買われて行きました。懐かしいレコード販売のブースから聞こえる音楽は、まるで心地よいBGMです。子ども会が販売するコーヒーは、来場者にもスタッフにも、ホッと一息つく癒しの時間を与えてくれました。



10時30分、伊陸地区コミュニティ協議会によるキャベツ入り豚汁の無料配布が始まると、その美味しそうな香りにつられて、あっという間に長蛇の列ができました。具だくさんの豚汁は300食用意され、美味しく体が温まるこのおもてなしは、みなさん大好評でした。



今回、新たな試みとして、伊陸の食材を使ったお弁当の展示があり、ひときわ目を引いていました。これは、伊陸小6年生が考案したメニューをもとに、2種類のお弁当を試作したものです。使われた食材は、地元野菜、シシ肉、そして、この土地自慢の伊陸米と梅干しです。どれも栄養バランスがよく、見た目も美味しそうで、感心しながら写真を撮る女性客も多くいました。

《伊陸小6年生が考案したお弁当》 ※ レシピは、ホームページに掲載予定



昨年に引き続き、今回もキャベツを使ったオリジナルレシピコンテストが実施され、8人の応募者の料理とレシピが展示されました。厳正な審査の結果、優勝は市内在住の庄本さんのレシピ「キャベツ入り蒸しパン」に決まりました。



グランプリ
キャベツ入り蒸しパン

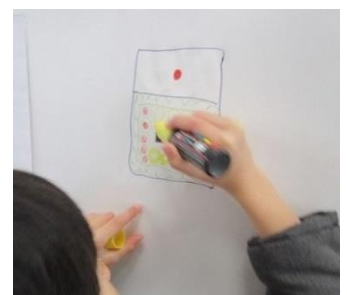


審査員特別賞
キャベツの押し寿司
“キャベツ畑に春が来た”



お手軽賞
キャベツのうまみたっぷりスープ

また、今回新しく「キャベツの重量当てクイズ」と「らくがきコーナー」も設置され、たくさんのちびっ子参加者が集まりました。キャベツの重量当てクイズには多数の応募があり、みごと当選者にはキャベツの賞品をお渡ししました。



買い物袋をさげた来場者の家族が名残惜しそうに会場をあとにして、今年のキャベツ祭りは無事に終了しました。

開催にあたり、準備から片付け等、地域の皆さまのご協力をいただきまして、誠に有り難うございます。関係者一同、心より感謝致しております。